

債券・為替 ウィークリーレポート



カナダ



ブラジル



メキシコ



オーストラリア



ニュージーランド



ノルウェー



南アフリカ



インドネシア



インド

国（地域）	格付 （※1）	債券（※2）	為替（対円）	経済成長率	政策金利	先週の動向	今週の見通し
		11/10 （11/3との比較）	11/10 （11/3との比較）	前年比 （※3）	先週末		
		今後の見通し （※4）	今後の見通し （※5）	景気の方向性 （※6）	方向性 （※7）		
カナダ 	AAA	1.97% （+0.01）	89.52円 （+0.16%）	+3.7% 2017年2Q	1.00%	中銀総裁は、完全雇用と完全生産に近づくにつれインフレ圧力が高まるとし、将来の金利変更への慎重な姿勢を示唆。市場予想を上回る住宅着工件数の結果などを受け、カナダドルは対円で上昇。国債利回りは小幅上昇。	CPIなどの発表を予定。NAFTA（北米自由貿易協定）再交渉第5回会合がメキシコで開催予定。自国の権益を確保できるかが焦点。米国の金融政策や中銀当局のコメントなどの動向や、原油価格の動向にも引き続き注目。
	Aaa	 金利横ばい		 景気拡大	 利上げ局面		
ブラジル 	BB	9.64% （▲0.01）	34.60円 （+0.53%）	+0.3% 2017年2Q	7.50%	年金改革法案への懸念が高まったものの、中東情勢を背景に原油を中心とした商品価格の上昇が好感されたことや、米税制改革を巡る不透明感などから、レアルは対円で上昇。国債利回りは小幅低下。	小売売上高などの発表を予定。12月に予定されている金融政策決定会合では利下げが行われる可能性が強いものの、高金利には変わりなく、為替市場の上値は重い展開を想定。
	Ba2	 金利低下		 景気回復	 利下げ局面		
メキシコ 	A	7.09% （+0.02）	5.94円 （+0.05%）	+1.6% 2017年3Q	7.00%	中銀は政策金利の据え置きを決定。最低賃金の引き上げがインフレを高める可能性を指摘。中東情勢による商品価格の連れ高を受けて、ペソは対円で上昇。国債利回りは小幅上昇。	中銀が、NAFTAを巡るリスクが投資を抑制し、成長見通しを引き下げる可能性があることと指摘していることや、一段のペソ安に慎重な姿勢を示していることから、債券・為替市場ともに神経質な展開を予想。
	A3	 金利上昇		 景気安定	 据え置き局面		

（出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成）

- ※1 格付は上段がS&P、下段がMoody'sによる自国通貨建て長期債格付を表示。
- ※2 国債利回りを表示（カナダ：10年、ブラジル：4年、メキシコ：5年）。債券については変化幅、為替については騰落率を表示。
- ※3 経済成長率については、前年同期比を表示。
- ※4、5 今後の見通しについては、今後1カ月のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。為替の見通しについては、現地通貨高（円安）を上向き、現地通貨安（円高）を下向き、横ばいを横方向の矢印で表示。
- ※6、7 方向性については、今後1年のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。
- ※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。
- ※政策金利については、カナダ：翌日物貸出金利、ブラジル：Selicレート、メキシコ：翌日物金利を表示。

※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末のご注意事項を必ずお読み下さい。

	格付 (※1)	債券 (※2)	為替 (対円)	経済成長率	政策金利	先週の動向	今週の見通し
		11/10 (11/3との比較)	11/10 (11/3との比較)	前年比 (※3)	先週末		
		今後の見通し (※4)	今後の見通し (※5)	景気の方向性 (※6)	方向性 (※7)		
オーストラリア 	AAA	2.61% (+0.04)	86.97円 (▲0.33%)	+1.8% 2017年2Q	1.50%	中銀は政策金利の据え置きを決定。10月の中国の鉄鉱石輸入が減少し、また中銀がインフレ率はしばらく低水準にとどまるとの可能性を示唆したため、豪ドルは対円で下落。国債利回りは上昇。	企業景況感や雇用統計などの発表を予定。四半期金融政策報告で、中銀がインフレと経済成長の予想を下方修正し、当面、金融政策が据え置かれる可能性が高まったため、豪ドルは上値が重い展開を想定。
	Aaa	 金利横ばい	 景気安定	 利上げ局面			
ニュージーランド 	AA+	2.93% (+0.08)	78.72円 (▲0.09%)	+2.5% 2017年2Q	1.75%	中銀は政策金利の据え置きを決定。相当程度の期間、緩和的な政策を継続する姿勢を示しつつも、従来予想より利上げ時期を前倒しする可能性を示唆。国債利回りは上昇。ニュージーランドドルは対円で下落。	先週行われた酪農品入札の落札価格が下落するなど、景気が加速する兆候は見られず、金融政策の先行きは依然不透明。発表予定の住宅売上高や製造業PMIなどの経済指標でも、市場の見方は大きくは変わらないと予想。
	Aaa	 金利横ばい	 景気安定	 据え置き局面			
ノルウェー 	AAA	1.58% (+0.03)	13.96円 (+0.02%)	+0.2% 2017年2Q	0.50%	製造業生産は市場予想を下回った一方、コアインフレ率は市場予想を上回る。欧州の指標原油価格である北海ブレントは、高値圏で方向感の出ない動きに。ノルウェークローネは対円で小幅上昇。国債利回りは小幅上昇。	GDP（国内総生産）や消費者信頼感、貿易収支などの発表を予定。7-9月期のGDPは、景気が緩やかに拡大していることを確認する内容となる見込み。一方、各種経済指標からは加速感はないがえず。
	Aaa	 金利横ばい	 景気安定	 利上げ局面			

(出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成)

- ※1 格付は上段がS&P、下段がMoody'sによる自国通貨建て長期債格付を表示。
- ※2 10年国債利回りを表示。債券については変化幅、為替については騰落率を表示。
- ※3 経済成長率については、前年同期比を表示。
- ※4、5 今後の見通しについては、今後1カ月のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。為替の見通しについては、現地通貨高（円安）を上向き、現地通貨安（円高）を下向き、横ばいを横方向の矢印で表示。
- ※6、7 方向性については、今後1年のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。
- ※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。
- ※政策金利については、オーストラリア：キャッシュレート、ニュージーランド：オフィシャル・キャッシュレート、ノルウェー：デポジットレートを表示。

※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末のご注意事項を必ずお読み下さい。

国（地域）	格付 （※1）	債券（※2）	為替（対円）	経済成長率	政策金利	先週の動向	今週の見通し
		11/10 （11/3との比較） 今後の見通し （※4）	11/10 （11/3との比較） 今後の見通し （※5）	前年比 （※3） 景気の方向性 （※6）	先週末 方向性 （※7）		
南アフリカ 	BBB-	8.33% （+0.09）	7.93円 （▲1.17%）	+1.1% 2017年2Q	6.75%	製造業生産はマイナス成長、企業景況感は低水準と、経済指標は軟調な結果。大統領が高等教育無償化を検討との報道を受けて、財政懸念に拍車。国債利回りは上昇。ランドは対円、対米ドルとともに下落。	小売売上高などの発表を予定。大手格付機関のレビューや来月の与党首選控え、さまざまな報道が出やすい地合い。格下げリスクや政治不安などを背景に、同国の債券・為替市場は軟調な推移を予想。
	Baa3	 金利上昇	 景気鈍化	 利下げ局面			
インドネシア 	BBB-	6.32% （+0.01）	0.84円 （▲0.83%）	+5.1% 2017年3Q	4.25%	7-9月期のGDPが前年比+5.06%と市場予想を下回ったことを受け、中銀による追加金融緩和への期待が高まる。市場の円高傾向を受けて、ルピアは対円で下落。国債利回りは小幅上昇。	金融政策決定会合を予定。インフレ上昇圧力が弱まる中、GDPの伸び率がさえないこともあり、中銀による追加利下げの有無が注目される。また、国債入札結果にも注目。
	Baa3	 金利低下	 景気拡大	 利下げ局面			
インド 	BBB-	6.79% （+0.07）	1.74円 （▲1.44%）	+5.7% 2017年2Q	6.00%	鉱工業生産は市場予想を下回るも堅調さを維持。GST（物品・サービス税）評議会では一部品目に対する税率の引き下げを決定。国債利回りは上昇。引き続き財政赤字拡大懸念などからルピーは対円、対米ドルとともに下落。	CPIや貿易収支などの発表を予定。債券・為替市場は海外市場の影響を受けやすいものの、ルピーはレンジ内の推移を予想。引き続き政府の景気刺激策や財政赤字などにも注目。
	Baa3	 金利横ばい	 景気回復	 据え置き局面			

（出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成）

- ※1 格付は上段がS&P、下段がMoody'sによる自国通貨建て長期債格付を表示。
- ※2 国債利回りを表示（南アフリカ：5年、インドネシア：5年、インド：5年）。債券については変化幅、為替については騰落率を表示。
- ※3 経済成長率については、前年同期比を表示。
- ※4、5 今後の見通しについては、今後1カ月のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。為替の見通しについては、現地通貨高（円安）を上向き、現地通貨安（円高）を下向き、横ばいを横方向の矢印で表示。
- ※6、7 方向性については、今後1年のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。
- ※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。インドネシアルピアは100通貨単位あたりの値。
- ※政策金利については、南アフリカ：レポレート、インドネシア：7日物リバースレポ金利、インド：レポレートを表示。

※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末のご注意事項を必ずお読み下さい。

期間：2017/8/11～2017/11/10

カナダ



ブラジル



メキシコ



※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。（出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成）

※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末のご注意事項を必ずお読み下さい。

期間：2017/8/11～2017/11/10

オーストラリア



ニュージーランド



ノルウェー

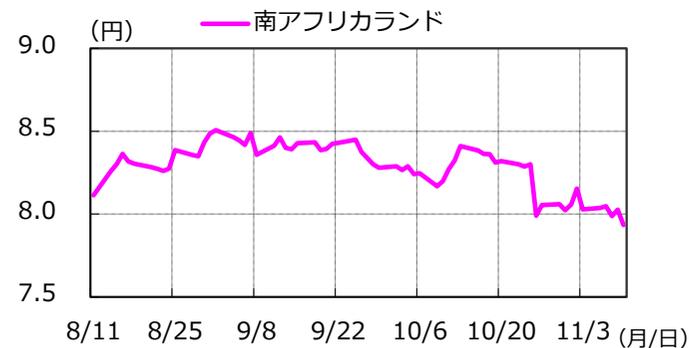


※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。（出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成）

※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末のご注意事項を必ずお読み下さい。

期間：2017/8/11～2017/11/10

南アフリカ



インドネシア



インド



※インドネシアルピアは100通貨単位あたりの値。 ※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。（出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成）

※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末のご注意事項を必ずお読み下さい。

投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項

【投資信託に係るリスクと費用】

● 投資信託に係るリスクについて

投資信託は、株式、債券および不動産投資信託証券（リート）などの値動きのある有価証券等（外貨建資産には為替リスクもあります。）に投資をしますので、市場環境、組入有価証券の発行者に係る信用状況等の変化により基準価額は変動します。このため、投資者の皆さまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆さまに帰属します。また、投資信託は預貯金とは異なります。

● 投資信託に係る費用について

[ご投資いただくお客さまには以下の費用をご負担いただきます。]

■ お客さまが直接的に負担する費用

購入時手数料：上限3.78%（税込）

換金時手数料：換金の価額の水準等により変動する場合がありますため、あらかじめ上限の料率等を示すことができません。

信託財産留保額：上限0.5%

■ お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用（信託報酬）：上限 年率2.6824%（税込）

※上記は基本的な料率の状況を示したものであり、成功報酬制を採用するファンドについては、成功報酬額の加算によってご負担いただく費用が上記の上限を超過する場合があります。成功報酬額は基準価額の水準等により変動するため、あらかじめ上限の額等を示すことができません。

その他費用・手数料：上記以外に保有期間等に応じてご負担いただく費用があります。投資信託説明書（交付目論見書）等でご確認ください。その他費用・手数料については定期的に見直されるものや売買条件等により異なるため、あらかじめ当該費用（上限額等を含む）を表示することはできません。

※手数料等の合計額については、購入金額や保有期間等に応じて異なりますので、あらかじめ表示することはできません。

※上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、アセットマネジメントOne株式会社が運用するすべての投資信託のうち、徴収するそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。

※投資信託は、個別の投資信託ごとに投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国が異なることから、リスクの内容や性質、費用が異なります。投資信託をお申し込みの際は、販売会社から投資信託説明書（交付目論見書）をあらかじめ、または同時にお渡ししますので、必ずお受け取りになり、内容をよくお読みいただきご確認のうえ、お客さまご自身が投資に関してご判断ください。

※税法が改正された場合等には、税込手数料等が変更となることがあります。

【ご注意事項】

● 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が作成したものです。

● 当資料は、情報提供を目的とするものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。

● 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。また掲載データは過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。

● 当資料における内容は作成時点のものであり、今後予告なく変更される場合があります。

● 投資信託は、

1. 預金等や保険契約ではありません。また、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。加えて、証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象ではありません。

2. 購入金額について元本保証および利回り保証のいずれもありません。

3. 投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。